

注目の新設校インタビュー

お話 横浜市立南高等学校附属中学校

横浜市立南高等学校 校長代理 菱刈範之先生



編集部 よろしくお願ひいたします。神奈川県には公立中高一貫校として、すでに県立の相模原中等教育と平塚中等教育の2校が開校、今回、横浜市立でも取り組もうとする狙いは何でしょうか。

菱刈 横浜市には高校・中学校・小学校・特別支援学校合計約500校があります。そこに中高一貫教育という新たな選択肢を用意することで、市民の皆さんの期待に応えていくためです。

編集部 横浜市立高校は、この南高校だけではありませんが、南高校が中高一貫教育校に選ばれたのはなぜでしょうか。

菱刈 3点あります。まず、南高校が地域に根ざして、市民に定着していることです。今年で創立57年になりましたが、地域の皆さんからの信頼が厚いことです。次に、国公立大をはじめとして、進学実績で一定の評価があり、しかも「全人教育」として文武両道を実践し、その面でも成果をあげていることです。

編集部 勉強だけでも、部活だけでもない、ということですね。

菱刈 そうです。勉強、部活だけでなく、様々な学校行事にも生徒たちは一生懸命に取り組んでいます。中高一貫校は文武両道の精神に基づいて「高い学力を身につけた、将来のリーダーの育成」を目指す学校です。その条件が、伝統として根付いています。

編集部 3点目は何でしょう。

菱刈 敷地面積は全市立高校の中で一番広く、施設・設備が充実していることです。

編集部 公立の中高一貫校には、高校募集のない中等教育学校と、東京都立の一部のような、高校

募集を残す併設型がありますが、南高校は併設型ですね。各学年のクラス数はどうなっていますか。

菱刈 中学は1学年4クラス、高校で1クラス分が外の中学校から進学してきて、高校は1学年5クラスになります。

編集部 高校から入学する生徒たちと、中学から内部進学する生徒たちは一緒のクラスで勉強するのですか。

菱刈 クラスを分けるか一緒にするかについては検討中です。ただ中学から内部進学する生徒たちは、一部の教科で高校内容の先取りを行う予定ですので、高校から入学する生徒は土曜日や夏季休業中に補習などを行うことで内部進学生と進度を合わせるようになります。

編集部 指導面の特色についてお願いします。

菱刈 中1・中2の2年間を養成期、中3・高1を伸長期、高2・高3を発展期として位置づけています。養成期は学校生活に順応し、本校の生徒としての学習・生活習慣を身につけるとともに、各教科の基礎基本をしっかりと定着させます。特に英数国は標準時間数よりも増やし、毎日実施します。さらに体験型の宿泊行事やボランティア活動などを通じてコミュニケーション力を養成します。

編集部 伸長期はいかがですか。

菱刈 引き続き英数国は毎日授業があり、教科によっては高校内容を中3に一部移行することも行います。また、英検やTOEICなどの資格取得にも取り組みます。また、日本文化と異文化の理解に力を入れるとともに、キャリア教育面を充実させて卒業後の方向性を形作っていきます。

編集部 発展期はいかがですか。

菱刈 課題研究に自発的に取り組む、学校行事や部活動等の先頭に立つ、といった活動を通じて、自発的に動けるリーダーとしての意識の確立に努めます。学習面では選択授業も取り入れて、進路実現を具体化していくこととなります。

編集部 選択授業は大学入試対策ですか。

菱刈 高3はかなり選択授業が増えます。全ての選択科目が大学入試を意識したものではありませんが、学校設定科目も含めて、大学入試に充分対応できる選択科目が多くなります。6年間を見通して大学入試センター試験5教科7科目に対応する国公立型としています。

編集部 国公立というと、東京の公立一貫校の白鷗高附属で、今春卒業の1期生が東大合格5名の実績を出し、話題になりましたが。

菱刈 本校は大学合格だけが一貫校の目的だとは考えませんが、生徒が希望する進路の実現のために、学校は最大限の努力はすべきだと思っています。英数国の時間数が多いですから、当然学力も高くなると考えていますし、自ずと志望大学もハイレベルになるでしょう。

編集部 特色ある取り組みをご紹介ください。

菱刈 総合的な学習の時間の取り組み、「EGG」です。Explore(さがす)、Grasp(つかむ)、Grow(伸びる)の頭文字をとったものです。生徒が自分の適性や学びの方向性を知ること、様々なスキルを身につけること、目的実現のために成長し続けるための取り組みです。

編集部 例えばどんな取り組みですか。

菱刈 大学や研究機関、企業等から講師をお呼びして、専門的なセミナーを、年間を通して実施します。また、中学3年生では、学習の集大成として卒業レポートを書く予定です。さらに国際交流として全員が海外研修旅行を行う予定です。

編集部 中学生の入学にあたって、新校舎を建設するのでしょうか。

菱刈 新たな校舎は建設しません。現在の南高校の施設を附属中学校の生徒と南高校の生徒が一緒に使うこととなります。また、充実した学習指

導を行うにあたり、教育課程を展開していく上で必要となる金工・木工室などについては、現在の施設を改修する予定です。

編集部 今度は生活面についてうかがいます。部活動は高校生と一緒に行うのですか。

菱刈 種目によっては中学生と高校生の体力の違いやコートなどの規格が違うなど、一緒にやろうとしても難しい面があります。文化系でもコンクールの出場資格などに違いがあるなど、ハードルがありますので、全て一緒にできるわけではありません。ただ、なるべく同じ種目や分野の部活動は作りたいと思っています。

編集部 学園祭や体育祭などの行事はいかがでしょう。

菱刈 やはり体力差も含めて、中学生が高校生と一緒に活動できるか、という問題があります。ただ、生徒会行事はなるべく中高一緒にやりたいと思っています。やってみて、良い方向を追求していきます。

編集部 昼食はお弁当ですか。

菱刈 お弁当を持参することが多いと思いますが、食堂を利用して昼食をとることも可能です。



[中学が開校する南高校]

編集部 昨年から説明会を行っていますが、どのくらいの参加者数でしたか。

菱刈 追加開催も含めて計6日間、全22回の説明会を開催し、約6,000人の参加者でした。お子さんとご両親で参加されたケースもありますから、ご家庭の数ではもっと少ないのですが、関心はかなり高いと思います。

編集部 参加者は地元の方が多かったのでしょうか。

菱刈 南区や港南区などの地元の方が多いの、都筑区や青葉区といった北部からも多くの参加者がいました。現在の南高校も南区と港南区が多いのですが、この両区でほとんど、とうわけではなく、市内18区全域から通ってきています。北部の港北ニュータウンなどとも地下鉄1本でつながっていて、通学しやすいといった点もあるのでしょうか。

編集部 都筑区や青葉区と言えば、市内でも私立中学進学率が高い地域ですね。

菱刈 通学の便を考えると、東京都の私学を目指す方も多いと聞いていましたが、皆さん真剣に説明を聞いてくださって、熱気を感じました。

編集部 入学者選抜は、どのような方法で行うのですか。

菱刈 小学校からの調査書と、筆記の適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを行います。

編集部 公表されている適性検査問題例を見ると、適性検査Ⅰは社会的、Ⅱは理科的に見えますが。

菱刈 適性検査は他の都県の出題なども研究しながら煮詰めているところです。問題例の内容ばかりでなく、もっと詳しい出題方針は、7月以降に実施する説明会でお話していく予定です。具体的な選抜方法なども説明します。

編集部 横浜市外からも出願できるのですか。

菱刈 神奈川県内に保護者とともに居住していれば出願することができますが、学区は横浜市内です。市外に居住している場合は学区外になりますので、合格者の人数に一定の制限を設けます。

編集部 適性検査は2月3日ですね。

菱刈 はい。県立の中等教育学校と同じ日です。

編集部 説明会の参加者数を見ると、かなりの志願者数になりそうですが、適性検査は南高校だけ

では実施しきれないかもしれませんね。

菱刈 どのくらいの志願者数になるかは何とも言えませんが、3,000名くらいになっても十分対応できるよう、別会場も含めて準備を整えます。編集部 話題は変わりますが、3月11日の地震の時、帰宅できずに学校に宿泊した生徒が各校で出ていましたが、南高校ではいかがでしたか。

菱刈 期末テストの期間中であつたため、校内に残っていた生徒は100余名でした。自宅に連絡を取り、安全を確認して帰宅した生徒が大半でしたが、保護者の方に迎えに来ていただいたり、職員が送ったりして、全員が当日に帰宅しました。ただ、本校でもこうした場合の宿泊の体制は整っています。

編集部 宿泊可能な施設があるのですか。

菱刈 敷地内に合宿用のセミナーハウスがあり、200名くらいは畳敷きの部屋で休むことができます。教室も開放すれば全校生徒も十分宿泊できますし、乾パンや水も備蓄があります。ただ、今回の件で、毛布はもっとあつた方が良く感じていますので、増やしていきます。また、PTAが主体となって6月から緊急メール配信システムを導入することになりました。緊急連絡のスピードアップが図られます。

編集部 では最後に、受験生・保護者の皆さんにメッセージをお願いします。

菱刈 学習活動はもちろんですが、本校はもともと文化的な活動も盛んで、高い学力の習得と豊かな人間性の育成を両立する環境が整っています。こうした環境で6年間を過ごすことで、国際社会で活躍できるリーダーを育成していきます。南高校と附属中学校でがんばってみようとする皆さん、ぜひ挑戦してください。

編集部 ありがとうございます。

横浜市立南高等学校附属中学校

交通案内 横浜市営地下鉄ブルーライン上永谷駅 徒歩約15分、同港南中央駅よりバス約7分、

同上大岡駅・京浜急行上大岡駅よりバス約10分 ○説明会 7/24(日)関内ホール、7/28(木)保土ヶ谷公会堂、7/29(金)西公会堂、各10時、12時30分、15時開始の3回ずつ、往復はがきで申し込み、詳細は学校ホームページ(<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/hs/minami/jhs/index.html>)でご確認ください。